

底流

A.Iとともに進化する
診療を夢見て

—の素晴らしい能力の高い同胞と
力をあわせて更なる高みを目指して—

職人芸の要素が強い消化器内視鏡分野において、生成A.Iを
活用する。

すでに諸先生方においては
生成A.Iを論文作成や文献検索、情報収集に多用されてい
るところを察する。

ChatGPTをはじめとする生成A.Iの進歩・普及は
目覚ましく、巷でも特に「A.I
に人間の仕事が奪われる可

能性」が話題にのぼっている。ち、「A.Iを使いこなす医者
がこれから伸びる」と感じ
ていている。そもそも消化器内視
鏡は個人の職人芸の要素が強
い。施行医師間での手技や診
断能力に大きなばらつきが生
じることが知られてきた。十
分な教師データを与えて学習

言の以外のこととは一切して
くれない。死角の無いように
きちんと観察し病変を描出す
ことができる。そもそも消化器内視
鏡が仕事をしやすいように、内
視鏡を操作するのは人間医師
がアップをするなど、(A.I様
が仕事をしやすいように)内
視鏡の手技を

さえた生成A.Iの診断能力の
高さは予想されていたが、開
発段階のデータをみると、き
んと描出された画像について
ての病変の検出能力や診断精
度の高さは、内視鏡専門医を
集めた試験でもA.Iがトップ
クラスに位置するとは間違
ないところだ。ただA.Iは画
面に映った画像をみて意見を
述べる。

職人芸の要素が強い消化器内視鏡分野において、生成A.Iを
活用する。

地区医師会長連絡協議会報告

令和8年1月16日(金)

○都医からの伝達事項

(1) 令和7年度東京都麻し
ん・風しん対策講習会の開催
について

午後2時よりオンラインにて
開催する。医師、看護師等医
療従事者の方々に多数ご参加
いただきたいので周知をお願い

標記講習会を2月28日(土)

午後2時よりオンラインにて
開催する。医師、看護師等医
療従事者の方々に多数ご参加
いただきたいので周知をお願い

(2) 城東プロック
(3) 城西プロック

(4) 城南プロック
(5) 城北プロック
(6) 多摩プロック
(7) 大学プロック

(8) 出席者による意見交換

(9) 出席者による意見交換

(10) 出席者による意見交換

(11) 出席者による意見交換

(12) 出席者による意見交換

(13) 出席者による意見交換

(14) 出席者による意見交換

(15) 出席者による意見交換

(16) 出席者による意見交換

(17) 出席者による意見交換

(18) 出席者による意見交換

(19) 出席者による意見交換

(20) 出席者による意見交換

(21) 出席者による意見交換

(22) 出席者による意見交換

(23) 出席者による意見交換

(24) 出席者による意見交換

(25) 出席者による意見交換

(26) 出席者による意見交換

(27) 出席者による意見交換

(28) 出席者による意見交換

(29) 出席者による意見交換

(30) 出席者による意見交換

(31) 出席者による意見交換

(32) 出席者による意見交換

(33) 出席者による意見交換

(34) 出席者による意見交換

(35) 出席者による意見交換

(36) 出席者による意見交換

(37) 出席者による意見交換

(38) 出席者による意見交換

(39) 出席者による意見交換

(40) 出席者による意見交換

(41) 出席者による意見交換

(42) 出席者による意見交換

(43) 出席者による意見交換

(44) 出席者による意見交換

(45) 出席者による意見交換

(46) 出席者による意見交換

(47) 出席者による意見交換

(48) 出席者による意見交換

(49) 出席者による意見交換

(50) 出席者による意見交換

(51) 出席者による意見交換

(52) 出席者による意見交換

(53) 出席者による意見交換

(54) 出席者による意見交換

(55) 出席者による意見交換

(56) 出席者による意見交換

(57) 出席者による意見交換

(58) 出席者による意見交換

(59) 出席者による意見交換

(60) 出席者による意見交換

(61) 出席者による意見交換

(62) 出席者による意見交換

(63) 出席者による意見交換

(64) 出席者による意見交換

(65) 出席者による意見交換

(66) 出席者による意見交換

(67) 出席者による意見交換

(68) 出席者による意見交換

(69) 出席者による意見交換

(70) 出席者による意見交換

(71) 出席者による意見交換

(72) 出席者による意見交換

(73) 出席者による意見交換

(74) 出席者による意見交換

(75) 出席者による意見交換

(76) 出席者による意見交換

(77) 出席者による意見交換

(78) 出席者による意見交換

(79) 出席者による意見交換

(80) 出席者による意見交換

(81) 出席者による意見交換

(82) 出席者による意見交換

(83) 出席者による意見交換

(84) 出席者による意見交換

(85) 出席者による意見交換

(86) 出席者による意見交換

(87) 出席者による意見交換

(88) 出席者による意見交換

(89) 出席者による意見交換

(90) 出席者による意見交換

(91) 出席者による意見交換

(92) 出席者による意見交換

(93) 出席者による意見交換

(94) 出席者による意見交換

(95) 出席者による意見交換

(96) 出席者による意見交換

(97) 出席者による意見交換

(98) 出席者による意見交換

(99) 出席者による意見交換

(100) 出席者による意見交換

(101) 出席者による意見交換

(102) 出席者による意見交換

(103) 出席者による意見交換

(104) 出席者による意見交換

(105) 出席者による意見交換

(106) 出席者による意見交換

(107) 出席者による意見交換

(108) 出席者による意見交換

(109) 出席者による意見交換

(110) 出席者による意見交換

(111) 出席者による意見交換

(112) 出席者による意見交換

(113) 出席者による意見交換

(114) 出席者による意見交換

(115) 出席者による意見交換

(116) 出席者による意見交換

(117) 出席者による意見交換

(118) 出席者による意見交換

(119) 出席者による意見交換

(120) 出席者による意見交換

(121) 出席者による意見交換

(122) 出席者による意見交換

(123) 出席者による意見交換

(124) 出席者による意見交換

(125) 出席者による意見交換

(126) 出席者による意見交換

(127) 出席者による意見交換

(128) 出席者による意見交換

(129) 出席者による意見交換

(130) 出席者による意見交換

(131) 出席者による意見交換

(132) 出席者による意見交換

(133) 出席者による意見交換

(134) 出席者による意見交換

(135) 出席者による意見交換

(136) 出席者による意見交換

(137) 出席者による意見交換

(138) 出席者による意見交換

(139) 出席者による意見交換

(140) 出席者による意見交換

(141) 出席者による意見交換

(142) 出席者による意見交換

(143) 出席者による意見交換

(144) 出席者による意見交換

(145) 出席者による意見交換

(146) 出席者による意見交換

(147) 出席者による意見交換

(148) 出席者による意見交換

(149) 出席者による意見交換

(150) 出席者による意見交換

(151) 出席者による意見交換

(152) 出席者による意見交換

(153) 出席者による意見交換

(154) 出席者による意見交換

(155) 出席者による意見交換

(156) 出席者による意見交換

(157) 出席者による意見交換

(158) 出席者による意見交換

(159) 出席者による意見交換

(160) 出席者による意見交換

(161) 出席者による意見交換

(162) 出席者による意見交換

(163) 出席者による意見交換

(164) 出席者による意見交換

(165) 出席者による意見交換

(166) 出席者による意見交換

(167) 出席者による意見交換

(168) 出席者による意見交換

(169) 出席者による意見交換

ふれあいポスト

各地区会報から

中野区医師会 鶴田晋佑

子供達との体験じまん

医業を行いながら子育てするのは、本当に大変です。そのため私は大変さの解決方法として、苦難を幸せと感じるスイッチを入れるようにしています。

子育ては楽しいと思い込めるよう、今回は子供との出来事じまん話とさせて頂きたいと思います。

長女(小学生)は人を笑わせるのが大好きな子供です。

何がそんなに楽しいのか分かりませんが、いつも明るいです。特に最近は物真似にはまっており、『埴輪』が大好きです。あの埴輪の笑っているのか無表情なのか微妙な顔を真似るのが得意で、物真似した娘を見た後に埴輪を見ると、埴輪が娘の真似をしているようで笑いが止まらなくなります。

また複雑なルール作りも好きです。例えば中野駅北口のエスカレーター下に黄色の巨大壁画があるのですが、その猫と犬と毎朝話しています。イッテラという猫とシャイワンという犬の名前で毎朝見送りしてくれているという設定です。「行ってくるね、大好きだよ！」など忙しい朝に壁に向かって話をしています。私は朝が弱く抑うつ状態のため、このような純粋な娘と一緒にいると気持ちが楽になっていきます。

長男(幼稚園)はザ内弁慶で怖がります。

先日お台場のイマーシブフォートという元ビーナスフォートの建物で、建物全体が観客参加型の劇場に遊びに行きました。最初は偉

そうにしていた息子ですが、館内放送が流れ、「緊急事態です！ゾンビが逃げ出しました！」とゾンビがあちこちに出始めると、「ぱぱ！怖い！逃げて！早く！ゾンビが来た！」と会場内で一番声を張り悲鳴を上げて泣いていました。わざと抱っこしながら間違えたふりをしてゾンビに近寄ると、「いやー！やめてー！」と発狂していました。

笑いが止まらずとても可愛くて長男との一番の思い出になりました。それ以降はスーパーでも館内放送が流れると「ゾンビが来る！」と怖がるようになりましたが。

そんな二人はいつも喧嘩しているか恋人のように仲良くしており、お騒がせの毎日です。おもちゃを買うなら必ず二つ、特に弟は姉が大好きで常に同じことをしてほしいそうです。お似合いすぎる姉弟です。

知らない世界を子供と一緒に色々体験することができますので、2度目の人生を送らせてもらっている感じです。サンリオピューロランドなどキラキラした場所にも行かせてもらい楽しめています。これからも子供達を理由に私自身が色々な経験ができた嬉しいです。

子育ては当直のような毎日ですが、大変だけどきっと今が一番幸せなんだろうなと変換スイッチを入れながらこれからも頑張りたいと思います。

(「医師会新聞」2025年7月 No.697より抜粋)

中野区医師会 山岸千尋

ぶたみみたぶ



幼いころ、寝る前に母に絵本やむかしばなしの読み聞かせをしてもらったことをよく覚えています。自分が母になって、息子にも絵本の読み聞かせをしていました。その息子も昨年成人しました。そのころ集めた絵本を今ではクリニックの待合室で患者さんたちが読んでくれています。

絵本は、美しく楽しい絵を見て楽しむ、テンポの良い文章を楽しむ、「ページをめくる」ワクワク感を楽しむエンターテインメントです。その魅力にひかれ、2017年に「StuDiOえ・ほ・ん」という絵本の制作・研究グループに参加し、毎年開催される絵本展に展示でき

るようにと細々と絵本製作をしております。

なんとなくそこらへんの紙に落書きをすることがよくあります。あるときかわいいブタの写真をみながら、絵を描いていました。大きなお耳にイヤリングでもつけてあげようかしら、と思っていたら、とつぜん「ぶたみみたぶ」が降ってきました。あら、回文、おもしろい！から始まって、いろいろな回文を思いつき、絵本にしてみました。案内役は、幼いころの息子と我が家の愛犬ジャックです。

(「医師会新聞」2024年1・2月 No.679・680より抜粋)



医師と医師会を結ぶ 情報紙

都医ニュース

2026
Vol.
720

地区医師会長からの一言 江東区をご理解いただくために

江東区医師会長 足川哲夫



当医師会は令和8年ようやく設立28年となる比較的新しい組織である。

平成10年に設立されるまでは、戦後の新しい行政単位としての江東区とは異なり、深川医師会と城東医師会という組織を維持していた。

しかしその深川区・城東区という枠組みを越えて、江東区は湾岸地域が発展した。

区の面積が倍増と感じるほどであり、これに深川・城東の両地区が共同して対応する必要性が高まっていたため、当医師会設立は時宜を得たものであった。

当区はここ10年ほど湾岸地域を核とする新規開業ラッシュという国内でも大変珍しいと思われる地区であったが、ようやく一段落した感がある。

その背景となる人口も右肩上がりに増え、長く区長を務めた山崎孝明氏の「50万人を超える区となるまで発展して欲しい」との希望を超えて、現在は人口約54万人となっている。

急速な発展はさまざまな問題となって社会的対応が急務であった。若い人達が区南部の湾岸地域に次々と建設された所謂タワーマンションに住むようになると、そこで出生する多くの子ども達のための、保育園・幼稚園・小中学校が新たに必要とされ、さまざまな施設が供給不足となり、一昔前の待機児童問題を生み出し、また幾つかのマンモス校が創立された。

これらもようやく一段落ついた感がある。

しかし人口増加には新たな社会的变化も内在していた。54万人には約4万人の外国人が含まれるからである。江東区の人口の約7.4%となっている。外国人が人口の10%を超えると社会は大きく変化すると聞いたことがあるが、それがつい目の前に迫っている。多言語社会・多様性社会となることへの対応が急務となって、今後の大変な課題である。

それらとは対照的に、区北部は日本全国の他地域と同様に超高齢社会である。独居の高齢者が急速に増加し、必然的に在宅医療が重要性を増した。

また若い人達とは異なる高齢者の脆弱性から救急医療の逼迫も、特にコロナ禍においては顕著であった。しかしここ1、2年はその逼迫状況もとりあえず落ちつきを見せてきている。

当医師会は第3代井上仁会長の時にいち早く公益法人となり、ここまで述べたさまざまな問題を乗り越えて、「区民の安心・安全のため」に活動している。そしてその原動力は個々の会員の経営状況に支えられている。これが怪しくなってきている。

国民皆保険は、国民の重荷であるとの評価がなされて、実質的には縮小傾向にあるように感じられる。しかしそれは何よりも優先すべき、そして維持発展させるべき目標と考える世の中となってくれることを願ってやまない。